

令和7年(2025年)4月入学

宇都宮大学大学院
地域創生科学研究科博士前期課程

第2次学生募集要項

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜
学 部 3 年 次 生 特 別 選 抜
国 際 交 流 ・ 国 際 貢 献 活 動 経 験 者 特 別 選 抜

宇 都 宮 大 学

豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、34ページをご覧ください。また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予などについて、できるだけ配慮をいたします。

困難な状況が続いていると思いますが、是非とも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

☆ 主要日程

【一般選抜】【社会人特別選抜】【外国人留学生特別選抜】【学部3年次生特別選抜】【国際交流・国際貢献活動経験者特別選抜】

	実施するプログラム
インターネット出願事前登録期間	令和7年1月31日(金)～令和7年2月6日(木) 15時
出願書類受付期間	令和7年2月4日(火)～2月6日(木) 9時から16時まで(ただし、土曜・日曜は除く)
試験日	令和7年3月3日(月)
合格者発表	令和7年3月12日(水) 14時00分予定

留意事項

- 「国際交流・国際貢献活動経験者特別選抜」は、グローバル・エリアスタディーズプログラム及び多文化共生学プログラムのみ実施します。

個人情報の取扱いについて

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、写真、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

- ① 入学者選抜、入学手続など入学までの一連の業務
- ② 入学後の修学関係（学生証交付、履修指導、名簿作成等）及び学生生活関連（奨学金、授業料免除等）の業務
- ③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

学生募集要項に関する問い合わせ先

宇都宮大学学務部入試課
〒321-8505 宇都宮市峰町350
電話 028-649-5405

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…成績証明書、顔写真データ、など



STEP

2



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイトからアクセス

<https://e-apply.jp/ds/utsunomiya-gs/>



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



- ① 初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。
- ② メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信** をクリックしてください。
- ③ ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。
- ④ 登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。
- ⑤ ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** をクリックしてください。
- ⑥ 初期パスワードの変更を行ってください。
- ⑦ 表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。
- ⑧ 個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。



⑨ 登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩ 上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進みませんので **ログアウト** ボタンをおしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



① マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



② 入試選択と留意事項の確認



③ 志望学部等の選択



④ 顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤ 個人情報(氏名・住所等)の
入力



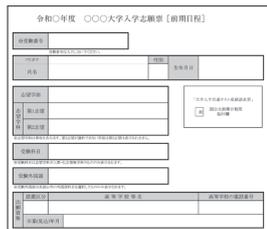
⑥ 出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦ 申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧ 入学検定料の支払い方法
● コンビニエンスストア
● ペイジー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード



⑨ 出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※ 検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1** ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※ 確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願
内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いが完了します。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機
または
Famiポート

あなたも、コンビニに、
FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

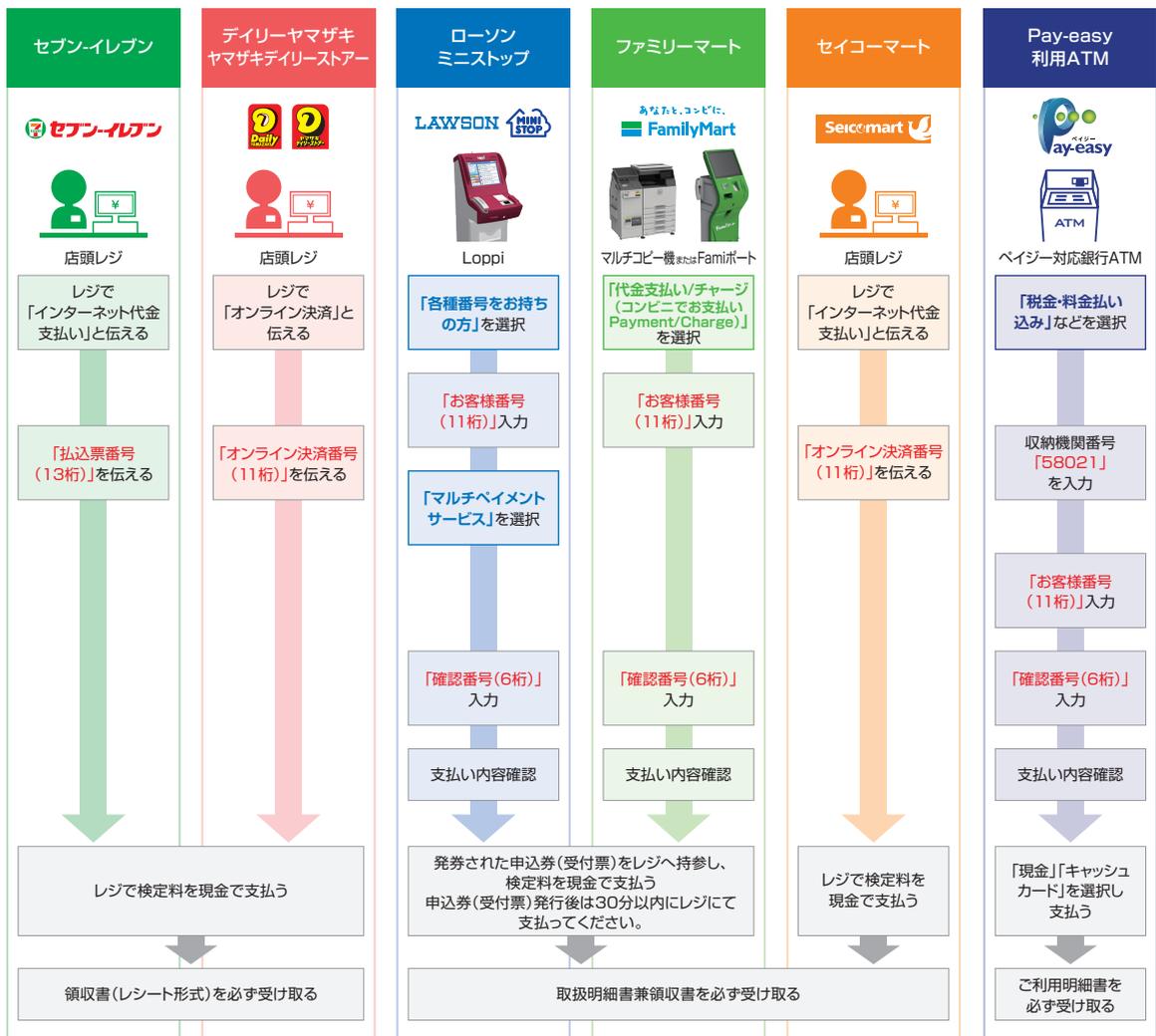
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



4 銀行ATM

STEP

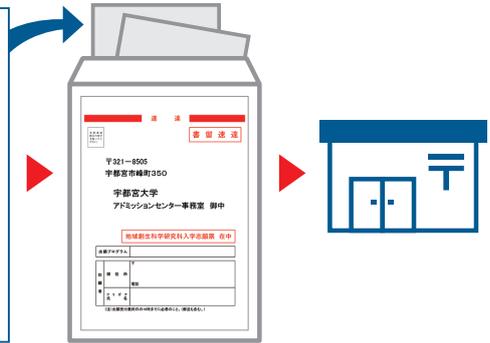
6



必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**書留・速達郵便**」で郵送してください。

出願に必要な書類は、学生募集要項を参照して準備してください。
インターネット出願サイトから印刷する書類以外にも大学等に請求いただく書類や本学のホームページから様式をダウンロードして作成する書類がありますので、注意してあらかじめ準備をすすめてください。



出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
に貼り付けて作成

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■ 出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

「Web志願票」の印刷方法



- (1) マイページに表示された **願書等の印刷** のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると **願書等の印刷** のボタンがクリックできるようになりWeb志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の 注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。出願登録、検定料の支払は出願締切日15時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自で**A4用紙にカラー片面印刷**をして**試験当日に持参**してください。



目 次

○ 地域創生科学研究科の概要	1
○ 地域創生科学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー	4
○ 地域創生科学研究科博士前期課程第2次学生募集要項	
I. 専攻別募集人員	9
II. 出願手続	10
III. 入学者選抜方法	12
1. 一般選抜	12
2. 社会人特別選抜	16
3. 外国人留学生特別選抜	20
4. 学部3年次生特別選抜	25
5. 国際交流・国際貢献活動経験者特別選抜	28
IV. 外国語の検査について	32
V. 教育研究分野別の専門科目一覧(一般選抜, 外国人留学生特別選抜, 学部3年次生特別選抜)	33
VI. 疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談	33
VII. 安全保障輸出管理について	34
VIII. 入学検定料免除について	34
IX. 入学試験過去問題について	35
X. 受験上の注意	37
XI. 合格者発表	38
XII. 入学手続	38
XIII. 入学料及び授業料等	38
XIV. 奨学金制度	38
XV. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について	39
XVI. 長期履修学生制度	39
XVII. 各学位プログラムへの問い合わせ先	40
XVIII. 研究指導教員一覧	41
XIX. 試験場案内図	45

地域創生科学研究科の概要

【理念】

『21世紀の課題を解決して持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献するために、社会デザインとイノベーションの創造を支える高度な人材を育成するとともに、STI for SDGsに資する特長的で強みのある研究を推進する。』

【地域創生科学研究科における「地域」】

本研究科では、『地域とは、地理的・物理的意味を単位とする特定の空間や範囲を示すものではない。問題意識に応じて設定され、可変的で多様な性格を有するもので、「ローカル／ナショナル／リージョナル／グローバル」の連結関係のなかで構成される。』と定義しています。

具体的には、コミュニティレベルから、都市や地域、国土全体そして国際的なレベルまでを想定し、これらの幅広いフィールドを対象として教育研究を推進します。

【専攻・学位プログラム】

社会デザイン科学専攻（入学定員：77名）

学位プログラム	授与学位	標準定員（目安）
コミュニティデザイン学プログラム	修士（学術）	（8）
農業・農村経済学プログラム	修士（農学）	
建築学プログラム	修士（工学）	（38）
土木工学プログラム	修士（工学）	
農業土木学プログラム	修士（農学）	
グローバル・エリアスタディーズプログラム	修士（国際学）	（26）
多文化共生学プログラム	修士（学術）	
地域人間発達支援学プログラム	修士（学術）	（5）

工農総合科学専攻（入学定員：258名）

学位プログラム	授与学位	標準定員（目安）
光工学プログラム	修士（光工学）	（54）
分子農学プログラム	修士（分子農学）	
物質環境化学プログラム	修士（工学）	（57）
農芸化学プログラム	修士（農学）	
機械知能工学プログラム	修士（工学）	（47）
情報電気電子システム工学プログラム	修士（工学）	（82）
農業生産環境保全学プログラム	修士（農学）	（18）
森林生産保全学プログラム	修士（農学）	

※第2次募集は社会デザイン科学専攻グローバル・エリアスタディーズプログラム、多文化共生学プログラム、地域人間発達支援学プログラムのみ実施します。

【育成する人材像】

社会デザイン科学専攻

○コミュニティデザイン学プログラム（第2次募集を実施しません）

コミュニティデザイン学の高度な知識・技術を修得して、コミュニティをデザインする能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○農業・農村経済学プログラム（第2次募集を実施しません）

農業・農村経済学の高度な知識・技術を修得して、食料・農業・農村に関する社会システムをデザインする能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○建築学プログラム（第2次募集を実施しません）

建築学の高度な知識・技術を修得して、建築に関する設計者・技術者・研究者としての能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○土木工学プログラム（第2次募集を実施しません）

土木工学の高度な工学技術を修得して、快適で安全・強靱な社会基盤をデザインする能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○農業土木学プログラム（第2次募集を実施しません）

農業土木学の高度な知識・技術を修得して、良好な農業農村基盤をデザインする能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○グローバル・エリアスタディーズプログラム

日本及び世界各地で発生している諸問題を理解・解決するための高度な知識・技術を修得して、グローバルな観点から社会をデザインする能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○多文化共生学プログラム

多文化共生学に関する高度な知識・技術を修得して、文化・言語・思想・宗教・価値観・立場の異なる人々が共に生きる多文化共生社会をデザインする能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○地域人間発達支援学プログラム

人間発達支援学の高度な知識・技術を修得して、人間の思考、生活、健康等の観点から、「人・ヒト」の「心とからだ」に関する社会システムをデザインする能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

工農総合科学専攻

○光工学プログラム（第2次募集を実施しません）

光学に関する高度な知識・技術を修得して、実践的な技術者・研究者としての能力を有し、広く世界の光学技術の創造・発展をリードして、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○分子農学プログラム（第2次募集を実施しません）

分子農学に関する高度な知識・技術を修得して、遺伝情報の解析技術とその発現機構に基づく分子レベルの知見を応用し実践する能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○物質環境化学プログラム（第2次募集を実施しません）

物質化学に関する高度な知識・技術を修得して、多様な場面においてそれを活用できる能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○農芸化学プログラム（第2次募集を実施しません）

生命化学に関する高度な知識・技術を修得して、マクロとミクロの視点から取り組む実践的な能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○機械知能工学プログラム（第2次募集を実施しません）

知能機械に関する高度な知識・技術を修得して、国際的に通用する研究者・技術者としての能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○情報電気電子システム工学プログラム（第2次募集を実施しません）

電気・電子・情報・通信に関する高度な知識・技術を修得して、国際的に通用する研究者・技術者としての能力を有し、新たな問題発見と課題定立から持続可能な豊かな地域創生に貢献できる人材

○農業生産環境保全学プログラム（第2次募集を実施しません）

農産物の生産・加工、資源循環、環境保全、野生鳥獣管理等に関する高度な知識・技術を修得して、省力・高品質生産を実現する新たな農業の確立に資する能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○森林生産保全学プログラム（第2次募集を実施しません）

森林・林業に関する高度な知識・技術を修得して、森林と人間の多様で持続的な関係の構築や森林資源の利活用に資する能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

地域創生科学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

【地域創生科学研究科】

- (1) 学修と研究に必要な基礎学力を有する人
- (2) 創造的思考力と主体的な行動力を持って、新しい領域に意欲的に挑戦しようとする意欲を持つ人
- (3) 専門的知識・技術と実践力を身に付けて、地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

【社会デザイン科学専攻】

- (1) 多様な人々が共生し持続可能な人間社会や社会環境のデザインに関する学修と研究に必要な基礎学力を有する人
- (2) 社会デザインに関する分野の専門能力を高めながら、創造的な能力を身に付けたい人
- (3) 社会デザインを通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ コミュニティデザイン学プログラム（第2次募集を実施しません）

- (1) コミュニティデザイン学を学修するために必要な政策科学，まちづくり，生活文化などの基礎学力を有する人
- (2) コミュニティの現場に目を向け，現場の実践から学び，新しい課題の解決に挑戦する意欲を持つ人
- (3) コミュニティデザイン学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 農業・農村経済学プログラム（第2次募集を実施しません）

- (1) 農業・農村経済学を学修するために必要な社会科学（経済学，社会学，歴史学など）の基礎学力を有する人
- (2) 高度な論理的思考能力と現実社会の中から積極的に学ぼうとする姿勢を持って，食料・農業・農村に関する新しい課題の解決に挑戦する意欲を持つ人
- (3) 農業・農村経済学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 建築学プログラム（第2次募集を実施しません）

- (1) 建築学を学修するために必要な建築構造学，建築計画学，建築環境工学，建築材料学などの基礎学力を有する人
- (2) 地球環境・地域社会の変化と建築との関わりを学び，ローカルからグローバルに至る多様な視点で新たな創造へ挑戦する意欲のある人
- (3) 建築学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲のある人

○ **土木工学プログラム**（第2次募集を実施しません）

- （1） 土木工学を学修するために必要な構造工学，水工学，地盤工学，土木計画学，土木材料学などに関する基礎学力を有する人
- （2） 地球環境・地域社会の変化と社会基盤との関わりを学び，ローカルからグローバルに至る多様な視点で新たな創造へ挑戦する意欲のある人
- （3） 土木工学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲のある人

○ **農業土木学プログラム**（第2次募集を実施しません）

- （1） 農業土木学を学修するために必要な土，水，農村環境に関する基礎学力を有する人
- （2） 地球環境・地域社会の変化と農業農村基盤との関わりを学び，ローカルからグローバルに至る多様な視点で新たな創造へ挑戦する意欲のある人
- （3） 農業土木学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲のある人

○ **グローバル・エリアスタディーズプログラム**

- （1） 国際学を学修するために必要な国際協力論，政治学，経済学，地域研究などの基礎学力を有する人
- （2） グローバルな諸問題に関心を持ち，学際的な幅広い教養と問題解決に必要とされる高度な実践力を身に付けて，新しい課題の解決に挑戦する意欲のある人
- （3） グローバル・エリアスタディを通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲のある人

○ **多文化共生学プログラム**

- （1） 多文化共生学を学修するために必要な社会学，文学・文化研究，心理学，言語学，人権論などの基礎学力を有する人
- （2） 文化，言語，思想，宗教，価値観，立場の異なる人々が共に生きる社会の形成について深く学び，新しい課題の解決に挑戦する意欲のある人
- （3） 多文化共生学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲のある人

○ **地域人間発達支援学プログラム**

- （1） 地域人間発達支援学を学修するために必要な教育・心理学，健康・生活科学，言語・芸術学などの基礎学力を有する人
- （2） 創造的思考力と主体的な行動力を持ち，人間発達支援に関する新しい課題の解決に挑戦する意欲のある人
- （3） 人間発達支援学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲のある人

【工農総合科学専攻】

- (1) イノベーションに関する学修と研究に必要な自然科学等の基礎学力を有する人
- (2) イノベーションに関する工学分野・農学分野の専門能力を高めながら、創造的な能力を身に付けたい人
- (3) イノベーションを通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 光工学プログラム（第2次募集を実施しません）

- (1) 光工学を学修するために必要な数学、物理学や光学に関する基礎学力を有する人
- (2) 光工学を基盤として、境界領域への関心も高く、創造的・独創的な課題に挑戦する意欲を持つ人
- (3) 光工学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 分子農学プログラム（第2次募集を実施しません）

- (1) 分子農学を学修するために必要な分子生物学、遺伝学、生理学などの基礎学力を有する人
- (2) 生命現象を分子レベルで理解するとともに、農学や生命科学の諸課題と分子解析技術について強い関心を持ち、農林水産分野で活用することに挑戦する意欲を持つ人
- (3) 分子農学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 物質環境化学プログラム（第2次募集を実施しません）

- (1) 物質環境化学を学修するために必要な物理化学、有機化学、無機化学などの基礎学力を有する人
- (2) 化学を中心とする製造業において、機能性物質開発や環境問題の解決に挑戦する意欲を持つ人
- (3) 物質化学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 農芸化学プログラム（第2次募集を実施しません）

- (1) 農芸化学を学修するために必要となる、化合物や生理活性物質の特性や機能性に関する化学的・生化学的な基礎学力を有する人
- (2) 広く食品、医薬品、化粧品などの産業や公共機関等において、機能性物質開発や環境問題の解決に挑戦する意欲を持つ人
- (3) 生命化学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 機械知能工学プログラム（第2次募集を実施しません）

- (1) 機械知能工学を学修するために必要な熱力学、流体力学、機械力学、材料力学、数学などの基礎学力を有する人
- (2) 機械知能工学や「ものづくり」に関心を持ち、創造的・独創的に思考しながら、研究課題や実践的・応用的なものづくりに挑戦することに意欲を持つ人
- (3) 機械知能工学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ **情報電気電子システム工学プログラム**（第2次募集を実施しません）

- （1） 情報電気電子システム工学を学修するために必要な情報数学，情報基礎理論，電磁気学，電気回路などの基礎学力を有する人
- （2） 情報電気電子システム工学を基盤として，「ヒト」と「モノ」をつなぐ先端システムの開発に挑戦する意欲を持つ人
- （3） 情報電気電子システム工学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ **農業生産環境保全学プログラム**（第2次募集を実施しません）

- （1） 農業生産環境保全学を学修するために必要な生物資源科学，農業環境工学などに関する基礎学力を有する人
- （2） 農業生産が抱える諸問題の解決に強い関心と熱意を持ち，最新のテクノロジーを農林生産の場に活用しようという意欲を持つ人
- （3） 農業生産環境保全学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ **森林生産保全学プログラム**（第2次募集を実施しません）

- （1） 森林生産保全学を学修するために必要な森林生産育林学，森林管理政策学，森林工学，森林生産利用学などに関する基礎学力を有する人
- （2） 森林・林業・林産業の分野で高度な知識と研究能力を身に付け，将来は専門職業人・研究者として諸課題の解決に挑戦する意欲を持つ人
- （3） 森林生産保全学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 学位プログラムの学修及び研究に必要な基礎学力や思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 専門分野や境界・学際領域における課題への関心，知識や技術の修得に対する意欲，主体的な姿勢，論理的思考力，表現力，コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

これらを踏まえ，地域創生科学研究科（博士前期課程）の入学者選抜では，各選抜区分において受験者に求める知識・技能等を次の選抜方法で評価します。なお，外国語は，すべて外部試験のスコアを評価します。

選抜区分	学修と研究に必要な基礎 学力・思考力	新しい領域に意欲的に 挑戦しようとする意欲	地域社会に貢献することへの強い関心と意欲
一般選抜	外国語（英語） 専門科目 口述試験	口述試験 出願書類	口述試験 出願書類
推薦特別選抜	外国語（英語） 口述試験 出願書類	口述試験 出願書類	口述試験 出願書類
社会人特別選抜	外国語（英語） 口述試験 出願書類	口述試験 出願書類	口述試験 出願書類
外国人留学生 特別選抜	外国語 （英語若しくは日本語） 専門科目 口述試験	口述試験 出願書類	口述試験 出願書類
学部3年次生特別選抜	外国語（英語） 専門科目 口述試験	口述試験 出願書類	口述試験 出願書類
国際交流・国際貢献活 動経験者特別選抜	外国語（英語） 口述試験 出願書類	口述試験 出願書類	口述試験 出願書類

宇都宮大学大学院地域創生科学研究科博士前期課程

令和7年4月入学第2次学生募集要項

I. 専攻別募集人員

専攻	入学定員	4月入学	
		選抜区分	募集人員
社会デザイン科学専攻	77名	一般選抜	若干名
		推薦特別選抜（※）	定員 31名 募集終了
		社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜 学部3年次生特別選抜 国際交流・国際貢献活動経験者特別選抜	若干名
工農総合科学専攻	258名	一般選抜	募集終了
		推薦特別選抜（※）	募集終了
		社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜 学部3年次生特別選抜	募集終了

留意事項

- 第2次募集は社会デザイン科学専攻グローバル・エリアスタディーズプログラム、多文化共生学プログラム、地域人間発達支援学プログラムのみ実施します。
- 国際交流・国際貢献活動経験者特別選抜は、社会デザイン科学専攻のうちグローバル・エリアスタディーズプログラム及び多文化共生学プログラムのみ実施します。

※ 推薦特別選抜は、令和7年4月入学の学生募集を終了（令和6年6月に入学試験を実施）しています。この募集要項では出願できません。

II. 出願手続

(1) 出願方法

出願はインターネット出願のみの受付です。出願手順の手順は以下のとおりです。

Step 1	学生募集要項の確認	出願手続を始める前に、この学生募集要項をよく読んで、内容をご確認ください。
Step 2	インターネット出願登録 (詳細は iii ページ)	下記のアドレスからインターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。 (https://e-apply.jp/ds/utsunomiya-gs/)
Step 3	入学検定料の支払い (詳細は v ページ)	インターネット出願サイトの指示に従い、入学検定料を支払ってください。
Step 4	必要書類の印刷	インターネット出願サイトから必要書類を印刷してください。
Step 5	必要書類の送付	インターネット出願サイト及び本学ホームページから印刷した必要書類と、他の全ての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「書留・速達」で郵送してください。
Step 6	受験票の印刷	出願が受理された方は、出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。志願者各自が印刷して、必ず試験当日に持参してください。

(2) 出願期間

	出願書類受付期間	インターネット出願登録及び 入学検定料支払い期限	出願書類到着期限(必着)
一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜 学部3年次生特別選抜 国際交流・国際貢献活動経験者特別選抜	令和7年2月4日(火) ～ 2月6日(木)	令和7年2月6日(木)15時	令和7年2月6日(木)16時

出願書類到着期限後に到着したものは受理しませんので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

(3) 提出方法・提出先

原則として書留・速達郵便による郵送とします。郵送では間に合わないなど、やむを得ない事情がある場合には、出願期間中の9時から16時まで(土・日曜日は除く)に持参してください。

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
宇都宮大学 学務部入試課

(4) 入学検定料について

入学検定料 30,000円

インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「コンビニエンスストア」「郵便局・銀行ATM」「インターネットバンキング」「クレジットカード」のいずれかの方法でお支払いください。

入学検定料は、出願書類を受理した後にはいかなる理由があっても返還しません。

(5) 事前準備について

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認及び準備してください。	
パソコン等の準備	<p>インターネット出願は、以下の環境で行ってください。</p> <p><ブラウザ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 8以降 <p>※ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作はしないでください。</p> <p>※スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末は、閲覧等は可能ですが推奨環境ではありませんので、一部の端末からは画面が正常に表示されない場合があります。また、印刷をするための印刷機能を必要としますので、パソコンからの利用を推奨します。</p>
メールアドレスの用意及びメールの設定	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p>@e-apply.jp</p> <p>出願時に登録したメールアドレスに、以下の4回メールが送信されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①インターネット出願登録入力中のテストメール ②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③入学検定料支払完了時の自動送信メール ④受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール <p>※受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。</p>
志願者本人写真(データ)の用意	<p>インターネット出願登録にあたって、顔写真データ(ファイル形式自由、2MBまで)が必要です。写真は本人確認に使用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー写真データを用意してください。</p> <p>以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。</p> <p>【使用できない写真の例】</p> <p>不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。</p>
その他必要書類の用意	<p>インターネット出願サイトから印刷する様式以外の書類「卒業(見込)証明書」や「研究計画書」等を出願期間に間に合うようあらかじめ用意してください。</p>
角形2号封筒の用意	<p>出願書類提出のために、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を用意してください。</p>
様式印刷の用意(プリンタ、用紙等)	<p>インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズ普通紙にカラー印刷する必要があります。また、入学志願票は両面印刷をする必要がありますので、両面印刷が可能なカラープリンタ及び印刷用紙(普通紙、PPC用紙、OA共通用紙、コピー用紙等)を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません。(個人情報の取り扱いには十分注意してください。)</p>

Ⅲ. 入学者選抜方法

入学者選抜方法は、選抜区分(「1. 一般選抜」「2. 社会人特別選抜」「3. 外国人留学生特別選抜」)

「4. 学部3年次生特別選抜」「5. 国際交流・国際貢献活動経験者特別選抜」)によって内容が異なるので、出願を希望する選抜区分のページを必ず読んでください。

1. 一般選抜

(社会デザイン科学専攻グローバル・エリアスタディーズプログラム, 多文化共生学プログラム, 地域人間発達支援学プログラムにおいて実施します。)

(1) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ① 大学を卒業した者及び入学時まで卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構(旧大学評価・学位授与機構)から学士の学位を授与された者及び入学時まで授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び入学時まで修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び入学時まで修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学時まで修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学時まで修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- ⑧ 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、地域創生科学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者で、地域創生科学研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑩ 地域創生科学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時まで22歳に達する者

(2) 出願資格審査等

出願資格⑥で出願しようとする者は、令和7年1月9日(木)までに学務部入試課へ問い合わせてください。

出願資格⑧, ⑨又は⑩で出願しようとする者は、学務部入試課へ早急に必ず問い合わせ、令和7年1月9日(木)までに出願資格個別審査申請の手続きをしてください。なお、期限を過ぎた申請は受理しません。

(3) 出願前の希望指導教員との事前連絡・相談

出願にあたっては、41ページ「Ⅷ 研究指導教員一覧」を確認の上、指導を希望する教員と必ず事前に連絡を取り、入学後の研究テーマ・内容について相談をしてください。

事前相談は、入学後の研究活動やカリキュラムに関することに限ります。過去の試験問題に関する質問など入学試験に関することには回答できません。また、入試問題の解答についての問い合わせについてはお答えできません。過去の試験問題については、35 ページ「IX. 入学試験過去問題について」を参照してください。

(4) 出願書類等

◇印の出願書類はインターネット出願登録後にインターネット出願サイトから印刷する書類。

◆印の出願書類は本学ホームページ（入試情報）のページから様式をダウンロードする書類。

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam/>

*印の出願書類は本学ホームページ（大学院入試）のページから様式をダウンロードする書類。

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam/masters-course/>

- ・ 受理した書類等は、*TOEIC*® Listening & Reading Test (*TOEIC*® L&R) の公式認定証「Official Score Certificate」原本及び *TOEIC*® L&R IP テストの「個人成績表」原本を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ・ 出願書類のうち、日本語及び英語以外のものは、訳文の提出を求める場合があります。
- ・ 受理した書類等の内容変更は認めません。なお、現住所、連絡場所又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかに学務部入試課へ連絡してください。
- ・ 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ・ 入学検定料は、出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても返還しません。

出願書類	提出該当者	摘要
◇入学志願票	全員	インターネット出願サイトからA4サイズで両面印刷してください。
*研究計画書	グローバル・エリアスタディーズ及び多文化共生学プログラム出願者	・ 本学所定様式により、日本語 1,000 字程度又は英語 500words 程度で作成してください。
卒業証明書、又は卒業見込証明書	全員	・ 最終学校の学長又は学校長が作成したもの ・ 卒業証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は、出願前に学務部入試課へ必ず相談してください。
成績証明書	全員	・ 最終学校の学長又は学校長が作成し、厳封したもの ・ 本学を卒業見込みの者は、証明書自動発行機を利用し、厳封する必要はありません。 ・ 成績証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は、出願前に学務部入試課へ必ず相談してください。
TOEIC, TOEFL に関する書類	全員	・ 32 ページ「IV. 外国語の検査について」に従い、指定されたスコアシートを提出してください。
学位授与証明書等	(1)出願資格②に該当する者	・ 大学改革支援・学位授与機構が作成したもの ・ 授与される見込みの場合は、学位授与証明書に代えて、在籍する学校長等が作成した学位授与申請することの証明書を提出してください。
国費外国人留学生, 外国	国費外国人留学	・ 該当する者は、確認書類を提出することにより学

出願書類	提出該当者	摘要
政府派遣留学生及び JICA 留学生に関する証明書	生(研究留学生に限る。), 外国政府派遣留学生及び JICA 留学生	力検査(外国語(英語)及び専門科目)を免除しますので, 必ず出願前に学務部入試課へ問い合わせ, 提出する証明書等について相談してください。
住民票	日本の国籍を有しない者	<ul style="list-style-type: none"> 市区町村長から交付された在留資格及び在留期間の記載があり, マイナンバーの記載がないもの 本学に在学中の者(科目等履修生及び研究生を含む。)は, 住民票を提出する必要はありません。住民票の代わりに学生証の写しを提出してください。 日本に在住していない場合, 出願前に学務部入試課へ相談してください。
◆入学検定料免除申請書	申請者のみ	次の(ア)又は(イ)のいずれかにより入学検定料免除を申請する場合は, 入学検定料を納付せずに, (ア) 地震, 風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は, 「入学検定料免除申請書」を提出してください。詳細は 34 ページ「Ⅷ. 入学検定料免除について」を参照してください。 (イ) 国費外国人留学生奨学金支給期間延長の申請を予定している者は, 所定の届け出により入学検定料を免除するので, 出願前に学務部入試課へ問い合わせてください。
出願書類提出用封筒	全員	市販の角形 2 号 (240mm×332mm) の封筒を各自で用意してください。
◇出願書類提出用宛名シート	全員	インターネット出願サイトからカラーで印刷し, 「出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 「速達書留」にて郵送してください。

- インターネット出願ページ上にアップロードする写真は出願前 3 ヶ月以内に正面向, 上半身, 無帽, 背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。写真の比率は縦 4×横 3, ファイルサイズは 2MB までです。

(5) 選抜方法

学力検査(専門科目及び外国語(英語)), 口述試験の結果及び成績証明書等を総合して行います。

試験科目	摘要
外国語(英語)	TOEIC® L&R 又は TOEFL®スコアを換算します。
専門科目	以下の<一般選抜専門科目一覧>を確認してください。
口述試験	学位プログラムごとで行います。

国費外国人留学生, 外国政府派遣留学生及び JICA 留学生は, 学力検査(専門科目及び外国語(英語))を免除します。

<一般選抜専門科目一覧>

◎: 必須科目 △: 選択科目(出願時に届け出) ★: 選択科目(試験時に選択)

専攻	学位プログラム	科目数	専門科目
社会デザイン科学専攻	グローバル・エリアスタディーズ	1科目	◎ 「グローバル・エリアスタディーズ（小論文）」
	多文化共生学	1科目	◎ 「多文化共生学」 ※下記4分野から出題。試験時に1分野を選択し解答。 〈思想・藝術・歴史〉, 〈文化・比較文化, 文学・比較文学〉, 〈社会・心理・教育〉, 〈言語・コミュニケーション〉
	地域人間発達支援学	2科目	◎ 「地域人間発達支援学（小論文）」 ◎ 志願する教育研究分野の専門科目（33 ページを参照）

(6) 試験日時及び試験場等

※受験する学位プログラムによって、試験場が異なります。

学位プログラム	試験日	試験時間	試験区分	試験場
グローバル・エリアスタディーズ 多文化共生学	令和7年 3月3日（月）	10:30～11:30	専門科目	峰キャンパス
		13:00～	口述試験	
地域人間発達支援学	令和7年 3月3日（月）	9:30～11:30	専門科目 ※時間を区分せずに、 120分で2科目を解答	
		13:00～	口述試験	

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

※ 試験当日の集合場所については、メールでお知らせします。集合時刻（試験開始 30 分前）までに集合場所へ到着してください。指定時刻までに集合できない場合、原則、試験開始後 30 分までは受験を許可しますが、試験時間の延長は認めません。

(7) 注意事項等

- ① 出願資格①②③④⑤⑥の卒業見込み又は修了見込みにより出願したが、入学時までに卒業又は修了しなかった場合あるいは学士の学位を授与されなかった場合は、合格を取り消します。入学手続きの際に確認できる証明書の提出を求めます。
- ② 指導を希望する教員への連絡先が分からない等、各専攻及び各学位プログラムに関する照会は 40 ページ「Ⅷ. 各学位プログラムへの問い合わせ先」を確認の上、記載の連絡先へ問い合わせてください。

2. 社会人特別選抜

(社会デザイン科学専攻グローバル・エリアスタディーズプログラム、多文化共生学プログラム、地域人間発達支援学プログラムにおいて実施します。)

(1) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ① 大学を卒業した者
- ② 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）から学士の学位を授与された者
- ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- ⑧ 大学に 3 年以上在学した者、外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、地域創生科学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑨ 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学の大学院に入学した者で、地域創生科学研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑩ 地域創生科学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までには 22 歳に達する者

※ 社会人特別選抜における社会人とは、「大学院入学の前において、大学卒業後、1 年以上の社会人経験を有する者」又は「義務教育修了後、5 年以上の社会人経験（高等学校、大学等に在学しながら職に就いていた期間を含む。）を有する者」とします。社会人経験には、家事に従事した期間を含みます。

※ 社会人特別選抜へ出願を希望する者のうち、入学後も社会人として職業を有する者等には、大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例措置を適用します。詳細は、39 ページを参照してください。

(2) 出願資格審査等

出願資格⑥で出願しようとする者は、令和 7 年 1 月 9 日（木）までに学務部入試課へ問い合わせてください。

出願資格⑧、⑨又は⑩で出願しようとする者は、学務部入試課へ早急に必ず問い合わせ、令和 7 年 1 月 9 日（木）までに出願資格個別審査申請の手続をしてください。なお、期限を過ぎた申請は受理しません。

(3) 出願前の希望指導教員との事前連絡・相談

出願にあたっては、41 ページ「Ⅷ 研究指導教員一覧」を確認の上、指導を希望する教員と必ず事前に連絡を取り、入学後の研究テーマ・内容について相談をしてください。

事前相談は、入学後の研究活動やカリキュラムに関することに限ります。過去の試験問題に関する質問など入学試験に関することには回答できません。また、入試問題の解答についての問い合わせについてはお答えできません。

(4) 出願書類等

◇印の出願書類はインターネット出願登録後にインターネット出願サイトから印刷する書類。

◆印の出願書類は本学ホームページ（入試情報）のページから様式をダウンロードする書類。

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam/>

*印の出願書類は本学ホームページ（大学院入試）のページから様式をダウンロードする書類。

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam/masters-course/>

- ・ 受理した書類等は、**TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R)** の公式認定証「Official Score Certificate」原本及び **TOEIC® L&R IP** テストの「個人成績表」原本を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ・ 出願書類のうち、日本語及び英語以外のものは、訳文の提出を求める場合があります。
- ・ 受理した書類等の内容変更は認めません。なお、現住所、連絡場所又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかに学務部入試課へ連絡してください。
- ・ 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ・ 入学検定料は、出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても返還しません。

出願書類	提出該当者	摘要
◇入学志願票	全員	インターネット出願サイトからA4サイズで両面印刷してください。
*研究計画書	全員	・ 本学所定様式により、日本語 2,000 字程度又は英語 1,000words 程度で作成してください。
社会人期間における活動の概要	全員	・ 本学指定様式により、日本語 1,200 字以内又は英語 550words 以内で作成してください。
卒業証明書	全員	・ 最終学校の学長又は学校長が作成したもの ・ 卒業証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は、出願前に学務部入試課へ必ず相談してください。
成績証明書	全員	・ 最終学校の学長又は学校長が作成し、厳封したもの ・ 成績証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は、出願前に学務部入試課へ必ず相談してください。
TOEIC, TOEFL に関する書類	全員（国費外国人留学生、外国政府派遣留学生及び JICA 留学生を除く）	・ 32 ページ「IV. 外国語の検査について」に従い、指定されたスコアシートを提出してください。
学位授与証明書	(1)出願資格②に該当する者	・ 大学改革支援・学位授与機構が作成したもの
国費外国人留学生、外国政府派遣留学生及び JICA 留学生に関する証明書	国費外国人留学生（研究留学生に限る。）、外国政府派遣留学生、JICA 留学生	・ 該当する者は、確認書類を提出することにより学力検査（外国語（英語））を免除しますので、必ず出願前に学務部入試課へ問い合わせ、提出する証明書等について相談してください。

出願書類	提出該当者	摘要
住民票	日本の国籍を有しない者	<ul style="list-style-type: none"> ・市区町村長から交付された在留資格及び在留期間の記載があり、マイナンバーの記載がないもの ・本学の科目等履修生及び研究生の場合、住民票を提出する必要はありません。住民票の代わりに学生証の写しを提出してください。 ・日本に在住していない場合、出願前に学務部入試課へ相談してください。
◆入学検定料免除申請書	申請者のみ	<p>次の(ア)又は(イ)のいずれかにより入学検定料免除を申請する場合は、入学検定料を納付せずに、</p> <p>(ア) 地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、「入学検定料免除申請書」を提出してください。詳細は42ページ「Ⅷ. 入学検定料免除について」を参照してください。</p> <p>(イ) 国費外国人留学生奨学金支給期間延長の申請を予定している者は、所定の届け出により入学検定料を免除するので、出願前に学務部入試課へ問い合わせてください。</p>
出願書類提出用封筒	全員	市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒を各自で用意してください。
◇出願書類提出用宛名シート	全員	インターネット出願サイトからカラーで印刷し、「出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。「速達書留」にて郵送してください。

- ・インターネット出願ページ上にアップロードする写真は出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。写真の比率は縦4×横3、ファイルサイズは2MBまでです。

(5) 選抜方法

学力検査(外国語(英語))、口述試験の結果、研究計画書、社会人期間における活動の概要及び成績証明書を総合して行います。

試験科目	摘要
外国語(英語)	TOEIC® L&R 又は TOEFL®スコアを換算します。
口述試験	研究計画書及び社会人期間における活動の概要の内容を含みます。

国費外国人留学生、外国政府派遣留学生及び JICA 留学生は、学力検査(外国語(英語))を免除します。

(6) 試験日時及び試験場等 ※受験する学位プログラムによって、試験場が異なります。

学位プログラム	試験日	試験時間	試験区分	試験場
グローバル・エリアスタディーズ 多文化共生学 地域人間発達支援学	令和7年 3月3日(月)	13:00~	口述試験	<u>峰キャンパス</u>

※ 試験当日の集合場所については、メールでお知らせします。集合時刻（試験開始 30 分前）までに集合場所へ到着してください。指定時刻までに集合できない場合、原則、試験開始後 30 分までは受験を許可します。

(7) 注意事項等

指導を希望する教員への連絡先が分からない等、各専攻及び各学位プログラムに関する照会は 40 ページ「XVII. 各学位プログラムへの問い合わせ先」を確認の上、記載の連絡先へ問い合わせてください。

3. 外国人留学生特別選抜

(社会デザイン科学専攻グローバル・エリアスタディーズプログラム, 多文化共生学プログラム, 地域人間発達支援学プログラムにおいて実施します。)

(1) 出願資格

日本の国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者を対象とします。

- ① 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学時までに修了見込みの者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学時までに修了見込みの者
- ③ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学時までに修了見込みの者
- ④ 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、地域創生科学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑤ 地域創生科学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに 22 歳に達する者

※ 日本の大学を卒業又は卒業見込みの者並びに日本の専修学校の専門課程を修了又は修了見込みの者は、外国人留学生特別選抜を受験することができません。

(2) 出願資格審査等

中華人民共和国の「高等教育自学考試」制度により学士の学位を授与された者は、令和 7 年 1 月 9 日（木）までに学務部入試課へ問い合わせてください。

出願資格④又は⑤で出願しようとする者は、学務部入試課へ早急に必ず問い合わせ、令和 7 年 1 月 9 日（木）までに~~出願資格個別審査申請の手続をしてください。~~なお、この期限を過ぎた申請は受理しません。

(3) 出願前の希望指導教員との事前連絡・相談

出願にあたっては、41 ページ「Ⅷ 研究指導教員一覧」を確認の上、指導を希望する教員と必ず事前に連絡を取り、入学後の研究テーマ・内容について相談をしてください。

事前相談は、入学後の研究活動やカリキュラムに関することに限ります。過去の試験問題に関する質問など入学試験に関することには回答できません。また、入試問題の解答についての問い合わせについてはお答えできません。過去の試験問題については、35 ページ「IX. 入学試験過去問題について」を参照してください。

(4) 出願書類等

◇印の出願書類はインターネット出願登録後にインターネット出願サイトから印刷する書類。

◆印の出願書類は本学ホームページ（入試情報）のページから様式をダウンロードする書類。

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam//>

*印の出願書類は本学ホームページ（大学院入試）のページから様式をダウンロードする書類。

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam/masters-course/>

- ・ 受理した書類等は、*TOEIC*® Listening & Reading Test (*TOEIC*® L&R) の公式認定証「Official Score Certificate」原本、*TOEIC*® L&R IP テストの「個人成績表」原本、及び日本語能力試験の「合否結果通知書」原本を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ・ 出願書類のうち、日本語及び英語以外のものは、訳文の提出を求め場合があります。
- ・ 受理した書類等の内容変更は認めません。なお、現住所、連絡場所又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかに学務部入試課へ連絡してください。
- ・ 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ・ 入学検定料は、出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても返還しません。

出願書類	提出該当者	摘要
◇入学志願票	全員	インターネット出願サイトから A4 サイズで両面印刷してください。
* 研究計画書	グローバル・エリアスタディーズ及び多文化共生学プログラム出願者	・ 本学所定様式により、日本語 1,000 字程度又は英語 500words 程度で作成してください。
卒業証明書、又は卒業見込証明書	全員	・ 最終学校の学長又は学校長が作成したもの ・ 卒業証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は、出願前に学務部入試課へ必ず相談してください。
成績証明書	全員	・ 最終学校の学長又は学校長が作成したもの ・ 成績証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は、出願前に学務部入試課へ必ず相談してください。
外国語（英語又は日本語）の能力試験に関する書類	全員（国費外国人留学生、外国政府派遣留学生及び JICA 留学生を除く）	・ 32 ページ「IV. 外国語の検査について」に従い、指定されたスコアシートを提出してください。
国費外国人留学生、外国政府派遣留学生及び JICA 留学生に関する証明書	国費外国人留学生（研究留学生に限る。）、外国政府派遣留学生、JICA 留学生	・ 該当する者は、確認書類を提出することにより学力検査（外国語及び専門科目）を免除しますので、必ず出願前に学務部入試課へ問い合わせ、提出する証明書等について相談してください。

出願書類	提出該当者	摘要
住民票	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・市区町村長から交付された在留資格及び在留期間の記載があり、マイナンバーの記載がないもの ・本学の科目等履修生及び研究生の場合、住民票を提出する必要はありません。住民票の代わりに学生証の写しを提出してください。 ・日本に在住していない場合、出願前に学務部入試課へ相談してください。
◆入学検定料免除申請書	申請者のみ	<p>次の(ア)又は(イ)のいずれかにより入学検定料免除を申請する場合は、入学検定料を納付せずに、</p> <p>(ア) 地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、「入学検定料免除申請書」を提出してください。詳細は 34 ページ「Ⅷ. 入学検定料免除について」を参照してください。</p> <p>(イ) 国費外国人留学生奨学金支給期間延長の申請を予定している者は、所定の届け出により入学検定料を免除するので、出願前に学務部入試課へ問い合わせてください</p>
出願書類提出用封筒	全員	市販の角形 2 号 (240mm×332mm) の封筒を各自用意してください。
◇出願書類提出用宛名シート	全員	インターネット出願サイトからカラーで印刷し、「出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。「速達書留」にて郵送してください。

- ・インターネット出願ページ上にアップロードする写真は出願前 3 ヶ月以内に正面向、上半身、無帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。写真の比率は縦 4×横 3、ファイルサイズは 2MB までです。

(5) 選抜方法

学力検査（専門科目及び外国語）、口述試験の結果及び成績証明書等を総合して行います。

試験科目	摘要			
外国語	英語（ <i>TOEIC®</i> L&R 又は <i>TOEFL®</i> ）若しくは日本語（日本留学試験又は日本語能力試験）のスコアを換算します。			
専門科目	以下の＜外国人留学生特別選抜専門科目一覧＞を確認してください。			
	<p>※ 次の学位プログラムでは、専門科目の試験において、日本語・母語辞書（電子辞書・翻訳機等は除く）の持ち込みを認めます。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>専攻</th> <th>学位プログラム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">社会デザイン科学専攻</td> <td>多文化共生学プログラム 地域人間発達支援学プログラム</td> </tr> </tbody> </table>	専攻	学位プログラム	社会デザイン科学専攻
専攻	学位プログラム			
社会デザイン科学専攻	多文化共生学プログラム 地域人間発達支援学プログラム			
口述試験	学位プログラムごとで行います。			

国費外国人留学生、外国政府派遣留学生及び JICA 留学生は、学力検査（専門科目及び外国語）を免除します。

＜外国人留学生特別選抜専門科目一覧＞

◎：必須科目 △：選択科目（出願時に届け出） ★：選択科目（試験時に選択）

専攻	学位プログラム	科目数	専門科目
社会デザイン科学専攻	グローバル・エリアスタディーズ	1科目	◎ 「グローバル・エリアスタディーズ（小論文）」
	多文化共生学	1科目	◎ 「多文化共生学」 ※下記4分野から出題。試験時に1分野を選択し解答。 ＜思想・藝術・歴史＞、＜文化・比較文化、文学・比較文学＞、＜社会・心理・教育＞、＜言語・コミュニケーション＞
	地域人間発達支援学	2科目	◎ 「地域人間発達支援学（小論文）」 ◎ 志願する教育研究分野の専門科目（33 ページを参照）

(6) 試験日時及び試験場等 ※受験する学位プログラムによって、試験場が異なります。

学位プログラム	試験日	試験時間	試験区分	試験場
グローバル・エリアスタディーズ 多文化共生学	令和7年 3月3日(月)	10:30～11:30	専門科目	<u>峰キャンパス</u>
		13:00～	口述試験	
地域人間発達支援学	令和7年 3月3日(月)	9:30～11:30	専門科目 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">※時間を区分せずに、 120分で2科目を解答</div>	
		13:00～	口述試験	

※ 試験当日の集合場所については、メールでお知らせします。集合時刻（試験開始 30 分前）までに集合場所へ到着してください。指定時刻までに集合できない場合、原則、試験開始後 30 分までは受験を許可します。

(7) 注意事項等

- ① 出願資格①②③の卒業見込み又は修了見込みにより出願したが、入学時まで卒業又は修了しなかった場合は、合格を取り消します。入学手続の際に確認できる証明書の提出を求めます。
- ② 指導を希望する教員への連絡先が分からない等、各専攻及び各学位プログラムに関する照会は 40 ページ「XVII. 各学位プログラムへの問い合わせ先」を確認の上、記載の連絡先へ問い合わせてください。

4. 学部3年次生特別選抜

(社会デザイン科学専攻グローバル・エリアスタディーズプログラム, 多文化共生学プログラム, 地域人間発達支援学プログラムにおいて実施します。)

(1) 出願資格

我が国において、令和7年3月末までに大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと地域創生科学研究科において認める者を対象とします。

この資格に定める者の範囲は、次の全ての要件を満たす者としてします。

- ① 令和7年3月末において、大学在学期間が3年間（休学期間を除く。）に達すること。
- ② 令和7年3月末において、3年次までに修得する必要がある必修科目の全部（基盤教育関係科目を含む。）及びそれを含めて、卒業要件単位数の4/5以上の単位を修得見込みであり、かつ、総修得単位の4/5以上が優以上の評語（点数評価の場合は100点満点で80点以上）を得る見込みであること。
- ③ 在籍する大学の学部長又は学科長等の推薦を得ていること。

※ 大学を卒業した者及び令和7年3月31日までに卒業見込み（早期卒業見込みを含む。）の者は、学部3年次生特別選抜を受験できません。

※ 学部3年次生特別選抜により入学した者は、学部を退学したのものとして扱われます。したがって、種々の国家試験等の資格試験において、大学の学部を卒業していることを受験資格要件とするものについては、受験資格がないこととなります。

(2) 出願資格認定手続

出願しようとする者は、学務部入試課へ早急に必ず問い合わせ、令和7年1月9日（木）までに
出願資格個別審査申請の手続をしてください。なお、出願資格個別審査の際には在学する大学の長が作成した「在学期間証明書（本学で指定する事項を明記したもの）」、「成績証明書（3年次前期までの成績が載っているもの）」、3年次後期の履修科目が分かる「履修登録確認表」等及び在学する大学（所属学部・学科）の「履修案内」写し等が必要となります。また、この期限を過ぎた申請は受理しません。

(3) 出願前の希望指導教員との事前連絡・相談

出願にあたっては、41ページ「XVII. 研究指導教員一覧」を確認の上、指導を希望する教員と必ず事前に連絡を取り、入学後の研究テーマ・内容について相談をしてください。

事前相談は、入学後の研究活動やカリキュラムに関することに限ります。過去の試験問題に関する質問など入学試験に関することには回答できません。また、入試問題の解答についての問い合わせについてはお答えできません。過去の試験問題については、35ページ「IX. 入学試験過去問題について」を参照してください。

(4) 出願書類等

◇印の出願書類はインターネット出願登録後にインターネット出願サイトから印刷する書類。

◆印の出願書類は本学ホームページ（入試情報）のページから様式をダウンロードする書類。

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam//>

*印の出願書類は本学ホームページ（大学院入試）のページから様式をダウンロードする書類。

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam/masters-course/>

- ・ 受理した書類等は、*TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R)* の公式認定証「Official Score Certificate」原本及び *TOEIC® L&R IP* テストの「個人成績表」原本を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ・ 出願書類のうち、日本語及び英語以外のものは、訳文の提出を求め場合があります。
- ・ 受理した書類等の内容変更は認めません。なお、現住所、連絡場所又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかに学務部入試課へ連絡してください。
- ・ 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ・ 入学検定料は、出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても返還しません。

出願書類	提出該当者	摘要
◇入学志願票	全員	・インターネット出願サイトから A4 サイズで両面印刷してください。
*推薦書	全員	・在籍する大学の学部長又は学科長が作成し、厳封したもの
成績証明書	全員	・最終学校の学長又は学校長が作成し、厳封したもの ・本学に在学中の者は、証明書自動発行機を利用し、厳封する必要はありません。
TOEIC, TOEFL に関する書類	全員	・32 ページ「IV. 外国語の検査について」に従い、指定されたスコアシートを提出してください。
住民票	日本の国籍を有しない者	・市区町村長から交付された在留資格及び在留期間の記載があり、マイナンバーの記載がないもの ・本学に在学中の者は、住民票を提出する必要はありません。住民票の代わりに学生証の写しを提出してください。
◆入学検定料免除申請書	申請者のみ	地震, 風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、入学検定料を納付せずに、「入学検定料免除申請書」を提出してください。詳細は 34 ページ「VIII. 入学検定料免除について」を参照してください。
出願書類提出用封筒	全員	・市販の角形 2 号 (240mm×332mm) の封筒を各自で用意してください。

出願書類	提出該当者	摘要
◇出願書類提出用宛名シート	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット出願サイトからカラーで印刷し、「出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 ・「速達書留」にて郵送してください。

④ 受験票の送付

- ・インターネット出願ページ上にアップロードする写真は出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。写真の比率は縦4×横3、ファイルサイズは2MBまでです。

(5) 選抜方法

学力検査（専門科目及び外国語（英語））、口述試験の結果及び成績証明書等を総合して行います。

試験科目	摘要
外国語（英語）	TOEIC® L&R 又は TOEFL®スコアを換算します。
専門科目	以下の<学部3年次生特別選抜専門科目一覧>を確認してください。
口述試験	学位プログラムごとで行います。

<学部3年次生特別選抜専門科目一覧>

◎：必須科目 △：選択科目（出願時に届け出） ★：選択科目（試験時に選択）

専攻	学位プログラム	科目数	専門科目
社会デザイン科学専攻	グローバル・エリアスタディーズ	1科目	◎ 「グローバル・エリアスタディーズ（小論文）」
	多文化共生学	1科目	◎ 「多文化共生学Ⅰ」 ※下記4分野から出題。試験時に1分野を選択し解答。 ＜思想・藝術・歴史＞、＜文化・比較文化、文学・比較文学＞、＜社会・心理・教育＞、＜言語・コミュニケーション＞
	地域人間発達支援学	2科目	◎ 「地域人間発達支援学（小論文）」 ◎ 志願する教育研究分野の専門科目（33ページを参照）

(6) 試験日時及び試験場等

※受験する学位プログラムによって、試験場が異なります。

学位プログラム	試験日	試験時間	試験区分	試験場
グローバル・エリアスタディーズ 多文化共生学	令和7年 3月3日(月)	10:30~11:30	専門科目	峰キャンパス
		13:00~	口述試験	
地域人間発達支援学	令和7年 3月3日(月)	9:30~11:30	専門科目 ※時間を区分せずに、 120分で2科目を解答	
		13:00~	口述試験	

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

※ 試験当日の集合場所については、メールでお知らせします。集合時刻(試験開始30分前)までに集合場所へ到着してください。指定時刻までに集合できない場合、原則、試験開始後30分までは受験を許可しますが、試験時間の延長は認めません。

(7) 注意事項等

- ① 学部3年次生特別選抜で合格した後、令和7年3月までに上記「(1) 出願資格」に定める所定の要件を欠いた場合は、合格を取り消します。
- ② 合格後は、令和7年3月31日までに、(1) 出願資格を満たしたことを確認できる証明書(在籍した大学の長が作成した「退学証明書(または「退学願受理証明書」等)」、1~3年次までのすべての成績が載っている「成績証明書」及び「在学期間証明書(本学で指定する事項を明記したもの)」)を提出する必要があります。
- ③ 指導を希望する教員への連絡先が分からない等、各専攻及び各学位プログラムに関する照会は59ページ「Ⅷ. 各学位プログラムへの問い合わせ先」を確認の上、記載の連絡先へ問い合わせてください。

5. 国際交流・国際貢献活動経験者特別選抜

(社会デザイン科学専攻グローバル・エリアスタディーズプログラム及び多文化共生学プログラムにおいて実施します。)

(1) 出願資格

令和7年3月31日現在において、1年以上の国際交流・国際貢献活動(青年海外協力隊、NGO・NPO等における活動)の経験を有する者で、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- ① 大学を卒業した者及び入学時までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構(旧大学評価・学位授与機構)から学士の学位を授与された者及び入学時までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び入学時までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び入学時までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学時までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満

たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学時まで修了見込みの者

- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- ⑧ 大学に 3 年以上在学した者、外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、地域創生科学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑨ 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学の大学院に入学した者で、地域創生科学研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑩ 地域創生科学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時まで 22 歳に達する者

(2) 出願資格審査等

出願資格⑥で出願しようとする者は、令和 7 年 1 月 9 日（木）までに学務部入試課へ問い合わせてください。

出願資格⑧、⑨又は⑩で出願しようとする者は、学務部入試課へ早急に必ず問い合わせ、令和 7 年 1 月 9 日（木）までに出願資格個別審査申請の手続きをしてください。なお、期限を過ぎた申請は受理しません。

(3) 出願前の希望指導教員との事前連絡・相談

出願にあたっては、41 ページ「Ⅷ 研究指導教員一覧」を確認の上、**指導を希望する教員と必ず事前に連絡を取り、入学後の研究テーマ・内容について相談をしてください。**

事前相談は、入学後の研究活動やカリキュラムに関することに限ります。過去の試験問題に関する質問など入学試験に関することには回答できません。また、入試問題の解答についての問い合わせについてはお答えできません。

(4) 出願手続き書類等

◇印の出願書類はインターネット出願登録後にインターネット出願サイトから印刷する書類。

◆印の出願書類は本学ホームページ（入試情報）のページから様式をダウンロードする書類。

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam/>

*印の出願書類は本学ホームページ（大学院入試）のページから様式をダウンロードする書類。

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam/masters-course/>

- ・ 受理した書類等は、**TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R)** の公式認定証「Official Score Certificate」原本及び **TOEIC® L&R IP** テストの「個人成績表」原本を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ・ 出願書類のうち、日本語及び英語以外のものは、訳文の提出を求め場合があります。
- ・ 受理した書類等の内容変更は認めません。なお、現住所、連絡場所又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかに学務部入試課へ連絡してください。
- ・ 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ・ 入学検定料は、出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても返還しません。

出願書類	提出該当者	摘要
◇入学志願票	全員	インターネット出願サイトから A4 サイズで両面印刷してください。
* 研究計画書	全員	・本学所定様式により，日本語 1,000 字程度又は英語 500words 程度で作成してください。
* 国際交流・国際貢献活動の概要	全員	・本学所定様式により，日本語 1,000 字程度又は英語 500words 程度で作成してください。
卒業証明書，又は卒業見込証明書	全員	・最終学校の学長又は学校長が作成したもの ・卒業証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は，出願前に学務部入試課へ必ず相談してください。
成績証明書	全員	・最終学校の学長又は学校長が作成し，厳封したもの ・本学を卒業見込みの者は，証明書自動発行機を利用し，厳封する必要はありません。 ・成績証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は，出願前に学務部入試課へ必ず相談してください。
TOEIC, TOEFL に関する書類	全員（国費外国人留学生，外国政府派遣留学生及び JICA 留学生を除く）	・32 ページ「IV. 外国語の検査について」に従い，指定されたスコアシートを提出してください。
学位授与証明書等	(1)出願資格②に該当する者	・大学改革支援・学位授与機構が作成したもの ・授与される見込みの場合は，学位授与証明書に代えて，在籍する学校長等が作成した学位授与申請することの証明書を提出してください。
国費外国人留学生，外国政府派遣留学生及び JICA 留学生に関する証明書	国費外国人留学生(研究留学生に限る。)，外国政府派遣留学生，JICA 留学生	・該当する者は，確認書類を提出することにより学力検査(外国語(英語))を免除しますので，必ず出願前に学務部入試課へ問い合わせ，提出する証明書等について相談してください。
住民票	日本の国籍を有しない者	・市区町村長から交付された在留資格及び在留期間の記載があり，マイナンバーの記載がないもの ・本学に在学中の者(科目等履修生及び研究生を含む。)は，住民票を提出する必要はありません。住民票の代わりに学生証の写しを提出してください。 ・日本に在住していない場合，出願前に学務部入試課へ相談してください。
◆入学検定料免除申請書	申請者のみ	次の(ア)又は(イ)のいずれかにより入学検定料免除を申請する場合は，入学検定料を納付せずに， (ア) 地震，風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は，「入学検定料免除申請書」を提出してください。詳細は 34 ページ「VIII. 入学検定料免除について」を参照してください。 (イ) 国費外国人留学生奨学金支給期間延長の申

出願書類	提出該当者	摘要
		請を予定している者は、所定の届け出により入学検定料を免除するので、出願前に学務部入試課へ問い合わせてください。
出願書類提出用封筒	全員	市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒を各自で用意してください。
◇出願書類提出用宛名シート	全員	インターネット出願サイトからカラーで印刷し、「出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。「速達書留」にて郵送してください。

- ・インターネット出願ページ上にアップロードする写真は出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。写真の比率は縦4×横3、ファイルサイズは2MBまでです。

(5) 選抜方法

学力検査(外国語(英語))、口述試験の結果、研究計画書、国際交流・国際貢献活動の概要及び成績証明書を総合して行います。

試験科目	摘要
外国語(英語)	TOEIC® L&R 又は TOEFL®スコアを換算します。
口述試験	研究計画書及び国際交流・国際貢献活動の概要の内容を含みます。

国費外国人留学生、外国政府派遣留学生及びJICA留学生は、学力検査(外国語(英語))を免除します。

(6) 試験日時及び試験場等

学位プログラム	試験日	試験時間	試験区分	試験場
グローバル・エリアスタディーズ 多文化共生学	令和7年 3月3日(月)	13:00~	口述試験	<u>峰キャンパス</u>

- ※ 試験当日の集合場所については、メールでお知らせします。集合時刻(試験開始30分前)までに集合場所へ到着してください。指定時刻までに集合できない場合、原則、試験開始後30分までは受験を許可します。

(7) 注意事項等

- ① 出願資格①②③④⑤⑥の卒業見込み又は修了見込みにより出願したが、入学時までに卒業又は修了しなかった場合あるいは学士の学位を授与されなかった場合は、合格を取り消します。入学手続の際に確認できる証明書の提出を求めます。
- ② 指導を希望する教員への連絡先が分からない等、各専攻及び各学位プログラムに関する照会は40ページ「XVII. 各学位プログラムへの問い合わせ先」を確認の上、記載の連絡先へ問い合わせてください。

IV. 外国語の検査について

全ての選抜区分において、本学独自の筆記試験を行わずに、外国語外部試験のスコアをもって外国語の成績として判定します。次に示すいずれか1つのスコアシートを出願時に提出してください。

※③日本留学試験及び④日本語能力試験は、外国人留学生特別選抜を志願する者のみ選択できます。

言語	利用する外部試験	摘要
英語	①TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R) (公開テスト, IPテスト)	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年4月以降に実施された TOEIC® Listening & Reading Test のスコアを利用する場合 公式認定証「Official Score Certificate」の原本又は各種団体が主催する IP テスト (カレッジ TOEIC を含む。) のスコアレポート「個人成績表」の原本が必要です。 IP テスト (オンライン版) はスコアレポートが発行されませんので、成績 PDF データを印刷して提出してください。 TOEIC® S&W テスト及び TOEIC Bridge®のスコアは受け付けません。 ・公開テストの場合、第 292 回以降が該当します。 ・提出された原本は、出願受付後返却します。
	②TOEFL iBT®	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年4月以降に実施された TOEFL iBT®のスコアを利用する場合 検定試験運営機関である米国 E T S から本学あて直接送付される公式スコアレポート「Official Score Report」のみ出願書類として有効です。(スコアは Test Date スコアのみ有効とし、My Best™ スコアは受け付けません。) 公式スコアレポート「Official Score Report」が出願期間最終日までに本学へ届くよう、受験者本人から米国 E T S に申請してください。宇都宮大学の団体コードは「7976」です。ETS への申請から本学到着まで約2か月を要するため、早めに申請してください。なお、出願時確認用として受験者用控えスコア「Test Taker Score Report」写しを本学あて出願書類に同封してください。
日本語 (※)	③日本語能力試験 (N1又はN2を取得したもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年第1回試験以降の日本語能力試験「認定結果及び成績に関する証明書」の原本、又は「日本語能力認定書・可否結果通知書(ハガキ形式のもの)」を提出してください。 ・提出された原本は、出願受付後返却します。
	④日本留学試験「日本語」	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験実施日から過去2年以内に実施された試験のスコア <ul style="list-style-type: none"> *日本学生支援機構における成績有効期間の関係上、入学試験実施日によって、入学試験に有効なスコアが変わります。 8月実施予定の入学試験【第1期募集】に有効とするスコアは次のとおりです。 ・2022年第2回試験(11月) ・2023年第1回試験(6月) ・2023年第2回試験(11月) ・2024年第1回試験(6月)

V. 教育研究分野別の専門科目一覧（一般選抜，外国人留学生特別選抜，学部3年次生特別選抜）

一般選抜，外国人留学生特別選抜及び学部3年次生特別選抜において，学位プログラム・教育研究分野別に指定する「専門科目」の一覧です。

専攻	学位プログラム	教育研究分野	専門科目
社会 デザ イン 科学 専 攻	地域人間発達支援学	教育学（教育哲学）	「教育・心理学」
		発達心理学・認知心理学	
		感情社会学	「教科教育・教育社会学」
		教科教育学（社会科教育学）	
		生活環境学・衣環境学	「生活科学」
		健康教育学・学校保健学	「スポーツ・健康科学」
		教育工学・情報教育	「情報・科学教育」
		科学教育・理科教育学・学習科学	
		音楽表現学・音楽教育	「音楽」
		工芸・美術	「美術」
		絵画技法・芸術学	

VI. 疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

疾病・負傷や身体障害等のために，受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は，下記期限までのできるだけ早い時期に学務部入試課との相談を開始してください。

また，事前相談の期限後であっても，受験上及び修学上で配慮が必要となった場合は，その時点で速やかに申し出てください。

(1) 事前相談の期限

令和7年1月9日（木）まで

(2) 事前相談申請書の提出

事前相談申請書に次の内容を記載し，医師の診断書（写し可）を添えて学務部入試課へ提出してください。事前相談申請書様式はホームページからダウンロードしてください。

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam/>

- ① 氏名，住所，連絡先電話番号，連絡可能な時間帯
- ② 志願予定の選抜の種類，専攻・学位プログラム名
- ③ 疾病・負傷や身体障害等の内容・程度
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校等で受けていた配慮の内容
- ⑦ 日常生活の状況

Ⅶ. 安全保障輸出管理について

本学では、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することがないように、「外国為替及び外国貿易法」に基づき「国立大学法人宇都宮大学安全保障輸出管理規程」を定め安全保障輸出管理を行っています。

外国人留学生は、出願前に事前確認を行いますので早々に希望する指導教員に必ず連絡してください。

出願にあたっては次のことをあらかじめご了承ください。

- ・事前確認の結果、安全保障輸出管理に係る審査が行われることとなった場合、終了するまでに長い日数を要したり、また、その審査結果によっては希望する教育を受けられない場合や研究ができない場合があります。
- ・入学後、提供する技術や使用する機材等に制限が加わる場合があります。また、法律の改正などで規制の強化が行われると、それまでの研究が継続できなくなる場合があります。

Ⅷ. 入学検定料免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、東日本大震災及び平成 23 年 3 月以降に災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）が適用された地域における地震、風水害等の災害（以下「災害」という。）により、次に該当する者です。

ア 主たる家計支持者（父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。）が、災害救助法が適用された地域に居住している場合又は居住していた場合で、次のいずれかに該当する者

㊦ 家計支持者の居住する家屋について、市町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

- (ア) 全壊
- (イ) 大規模半壊
- (ウ) 半壊

㊧ 家計支持者が、原子力災害対策特別措置法（平成 11 年法律第 156 号）に基づき定められた次のいずれかの区域に居住している者又は居住していた者

- (ア) 警戒区域
- (イ) 計画的避難区域
- (ウ) 緊急時避難準備区域

イ 家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、入学検定料免除申請書に、次のいずれかの証明書（写し可）を添えて、申請してください。入学検定料免除申請書様式は、本学ホームページ（入試情報）のページからダウンロードしてください。

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam/>

ア ①ア㊦並びに㊧に該当する者

罹災証明書、被災証明書等

イ ①イに該当する者

㊦ 家計支持者が死亡した場合

家計支持者の死亡が確認できる書類

㊧ 家計支持者が行方不明となった場合

家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て（入学検定料免除申請書に記載してください。）

なお、提出書類について不明な点がある場合は、あらかじめ学務部入試課まで問い合わせください。

また、免除申請の要件を満たしていなかった場合は、入学検定料の納付について学務部入試課から電話にて連絡します。

Ⅸ. 入学試験過去問題について

（1）入学試験過去問題の開示について

地域創生科学研究科では、過去5年間の入学試験問題（専門科目）を開示しています。ただし、解答は開示していません。

○ 窓口での閲覧

開示場所 学務部入試課（峰キャンパス）及び陽東学務課（陽東キャンパス）

開示時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・年末年始は除く）

○ インターネットでの閲覧

本学ホームページ <https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/past-entrance-exam-questions/graduate-entrance-exam.php>

※インターネット上では、著作権法上問題になる部分を開示していません。

（2）その他

① 入学試験問題に関する問い合わせについては回答できません。

② 入学試験の各専門科目で使用する教科書・参考書等は次のとおりです。

学位プログラム	専門科目	教科書・参考書等
グローバル・エリアーズ	「グローバル・エリアスタディーズ（小論文）」	①国際学・地域研究・法学・政治学・経済学・社会学等の社会科学分野の基礎理論に関する文献 ②国際社会に大きな影響を及ぼすような時事問題に関する記事や報道資料 ③プログラム所属教員が執筆した書籍・著作 なお、具体的な文献等の詳細については、当プログラムの関連科目のシラバスを参照されたい。
多文化共生学プログラム	「多文化共生学」〈思想・芸術・歴史〉	・岩城卓二・上島享・河西秀哉・塩出浩之・谷川穰・告井幸男編『論点・日本史学』（ミネルヴァ書房、2022年）・E・H・カー『歴史とは何か』（岩波新書、1962年／2022年）・『啓蒙思想の百科事典』（丸善出版、2023年）・渡辺護『芸術学』（東京大学出版会、1975年）・久保田慶一・木下大輔他『音楽用語の基礎知識』（アルテスパブリッシング、2019年）・アンドリュー・グレアム=ディクソン、樺山紘一『世界の美術』（河出書房新社、2017年）・永井均他編『事典哲学の木』（講談社、2002年）
	「多文化共生学」〈文化・比較文化、文学・比較文学〉	芥川龍之介『羅生門・鼻・芋粥・偷盗』（岩波文庫、2002） 池澤夏樹『世界文学を読みほどこースタンダードからピンチョンまで』（新潮選書、2005） ドストエフスキー著、安岡治子訳『貧しき人々』（光文社古典新訳文庫、2010）

多文化共生学プログラム		<p>夏目漱石『こころ』（岩波文庫、2005）</p> <p>ジェイ・ルービン編『ペンギン・ブックスが選んだ日本の名短編 29』（新潮社、2019）</p> <p>大橋洋一『新文学入門』（岩波書店、1995）</p> <p>亀井俊介編『現代の比較文学』（講談社学術文庫、1994）</p> <p>坂本昌樹ほか編『漱石と世界文学』（思文閣出版、2009）</p> <p>柴田勝二・加藤雄二編『世界文学としての村上春樹』（東京外国語大学出版会、2015）</p> <p>沼野充義編著『世界は文学でできている 対話で学ぶ〈世界文学〉連続講義』（光文社、2012）</p> <p>藤井省三『魯迅と世界文学』（東方書店、2020）</p> <p>堀啓子『日本近代文学入門 12人の文豪と名作の真実』（中公新書、2019）</p>
	「多文化共生学」（社会・心理・教育）	<p>坏・金子・室田(2016)『問いからはじめる社会福祉学』有斐閣</p> <p>岩渕 功一(2021)『多様性との対話』青弓社</p> <p>Council of Europe『Compass: Manual for Human Rights Education with Young People』</p> <p>芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第8版)』（岩波書店、2023年）</p> <p>白取祐司『刑事訴訟法〔第10版〕』（日本評論社、2021年）</p> <p>馬渕仁編(2017)『「多文化共生」は可能か』勁草書房</p> <p>丸山剛史編(2022)『グローバル化と外国人児童生徒教育』一藝社</p> <p>日本感情心理学会(企画・編集) (2019)『感情心理学ハンドブック』北大路書房</p>
	「多文化共生学」（言語・コミュニケーション）	<p>沖森 卓也(編著)／阿久津 智・井島 正博・木村 一・木村 義之・笹原 宏之(著) (2010)『日本語ライブラリー 日本語概説』（朝倉書店）</p> <p>益岡 隆志(編著) (2011)『はじめて学ぶ日本語学—ことばの奥深さを知る15章』（ミネルヴァ書房）</p> <p>窪菌 晴夫(編著) (2019)『よくわかる言語学』（ミネルヴァ書房）</p> <p>白井 恭弘(2004)『外国語学習に成功する人、しない人—第二言語習得論への招待』（岩波書店）</p> <p>中島 平三・瀬田 幸人(2021)『オックスフォード 言語学辞典(新装版)』（朝倉書店）</p>
地域人間発達支援学	「地域人間発達支援学（小論文）」	宮前耕史・平岡俊一・安井智恵・添田祥史編著：持続可能な地域づくりと学校，ぎょうせい，2017（ISBN：9784324102862）
	「教育・心理学」	田中智志・橋本美保編：教育の理念・歴史，一藝社，2013（ISBN：9784863590571） 無藤隆，森敏昭，遠藤由美，玉瀬耕治著：心理学，有斐閣，2018（ISBN：9784641053861）
	「教科教育・教育社会学」	國分麻里・川口広美編著：中等社会系教育，協同出版，2021（ISBN：9784319003587） 小原一馬著：なぜ僕らは勉強させられるのか，kindle版
	「生活科学」	藤城敏幸著：新編生活科学<第2版>，東京教学社，2022（ISBN：9784808260095）
	「スポーツ・健康科学」	金子明友・朝岡正雄編著：運動学講義，大修館書店，1990（ISBN：9784469261776）

地域 人間 発達 支援 学		教員養成系大学保健協議会編：学校保健ハンドブック＜第7次改訂＞，ぎょうせい，2019（ISBN：9784324105771）
	「情報・科学教育」	○新井紀子：AI vs 教科書が読めない子どもたち，東洋経済新報社，2019（ISBN：9784492762394） ○山内祐平：学習環境のイノベーション，東京大学出版会，2020（ISBN：9784130513548）
	「音楽」	久保田慶一著：改訂版 音楽の文章セミナー プログラム・ノートから論文まで，音楽之友社，2016（ISBN：9784276101524）
	「美術」	○谷川渥監修、小澤基弘・渡邊晃一編著：絵画の教科書，日本文教出版，2001（ISBN：9784783010067） ○横田学，尾澤勇，原島秀行，平野信子 著：工芸 I，日本文教出版，2022，2023（ISBN：9784536102155）

X. 受験上の注意

1. 次のことをすると不正行為となります。ただし，試験時の説明で認められている行為については，不正行為に該当しません。不正行為を行った場合は，その場で受験の中止と退室を指示され，それ以後の受験はできなくなります。また，受験した選抜区分の全ての成績を無効とします。なお，不正行為については，状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ア インターネット出願の選抜において故意に虚偽の情報を登録したことにより，登録した情報をもとに作成される志願票，写真票に虚偽の内容があった場合。
インターネット出願以外の選抜において志願票，受験票へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼ること）。
- 解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること
- イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること，教科書，参考書等の書籍類の内容を見ること，他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど）をすること
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること
- エ 配付された問題冊子を，その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと
- カ 監督者が試験開始を指示する前に，問題冊子を開いたり解答を始めること
- キ 試験時間中に，使用が認められていない定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む），コンパス，そろばん，グラフ用紙等の補助具を使用すること
- ク 試験時間中に，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等），タブレット端末，電子辞書，IC レコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること
- ※ イヤホンについては，耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中，病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は，受験上及び修学上の配慮に関する事前相談が必要です。）
- ケ 監督者が試験終了を指示した後に，その指示に従わず，鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること
- コ その他，試験時の説明で禁止された行為をすること

2. 上記1. 以外にも，次のことをすると不正行為となることがあります。ただし，試験時の説明で認められている行為については，不正行為に該当しません。指示等に従わず，不正行為と認定された場合の取扱

いは、1.と同様です。

- ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること
 - イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）をならずなど、試験の進行に影響を与えること
 - ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
 - エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
 - オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと
 - カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること
- ※その他、試験時間中に使用できないものや身に付けることができないもの等が発見された場合も不正行為に該当する場合があります。

XI. 合格者発表

(1) 日時等

令和7年3月12日（水） 14時00分

合格者の受験番号を本学ホームページ<<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>>に掲載するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。

なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

XII. 入学手続

(1) 入学手続日

令和7年3月下旬予定

詳細については、合格者に対し改めて連絡します。

XIII. 入学料及び授業料等

(1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（年額）

※ 入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※ 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 授業料は、半期分（267,900円）をそれぞれ指定期日までに納付してください。

(2) 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料

2,430円（2年間分）[令和6年4月現在]

XIV. 奨学金制度

奨学金を希望する場合は、本学ホームページで確認してください。

<<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/exemption.php>>

本制度に関する問い合わせは、学生支援課において受け付けます。

XV. 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例について

「社会人特別選抜」で出願しようとする者のうち、教育上特別の必要があると認められる場合には、入学後の履修について、大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例を認めることがあります。

本特例に基づき、地域創生科学研究科では必要に応じて、夜間開講（通常の授業時間帯以降の時間帯（17 時 40 分から 20 時 50 分））、同一授業科目の週 2 回の開講、修了課題に必要な研究・調査等の期間を集約するなどの配慮をいたします。教育方法の特例措置を希望する場合は、指導を希望する教員と実施方法等について必ず出願前に相談の上、出願書類「入学志願票」の教育方法の特例措置の欄に☑を記入してください。

※大学院設置基準第 14 条

大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

XVI 長期履修学生制度

この制度は、職業を有していること等により標準修業年限内での修学が困難な者に対して、標準修業年限（2 年）を超えて一定期間（最長 4 年）にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了できるようにするものです。教育課程表や履修すべき総単位数は 2 年で修了するものと同じですから、単年度の時間的負担は相当軽減されることになります。

長期履修学生として認められますと、通常 2 年の大学院修了年限のところを、例えば 3 年間で修了することができます。この間の授業料は、2 年分を 3 年に分割して納入することになります。すなわち 2 年間（4 学期）の授業料を 3 年間（6 学期）に分割して納めるために、年当たりの負担額は少なくなります。（ただし、授業料が改定された場合は、改定後の金額を基に再計算されます。）

長期履修学生として認められるためには、必要書類を添付の上、宇都宮大学長に申請して許可を得ることが必要となります。

なお、状況の変化により長期履修期間で修了できない場合には、その長期履修期間を含めて 6 年まで在学できます。このうち長期履修期間を超えた期間については、留年扱いとなって、通常の授業料が適用されることとなります。また、在学中に新規申請したり、許可された長期履修期間を 1 回に限り延長（3 年を 4 年に）又は短縮（4 年を 3 年に）することもできます。

これらの申請期間は、以下のとおりです。

(1) 新規申請

- ① 入学時に申請する場合
当該入学年度開始前の 3 月の入学手続期間中
- ② 在学中に申請する場合
長期履修開始前年度の 2 月末日まで

(2) 長期履修期間の延長及び短縮

長期履修期間の延長を希望する場合は、許可されている長期履修期間が終了する月の前月末日までに、短縮を希望する場合は、修了を予定する月の前月末日までに、長期履修期間変更願を提出してください。

本制度に関する問い合わせは、陽東学務課（電話 028-689-6014）において受け付けます。
なお、詳細については、合格者に対し改めて通知します。

XVII 各学位プログラムへの問い合わせ先

指導を希望する教員への連絡先が分からない等、各専攻及び各学位プログラムに関する照会は、以下の連絡先へ問い合わせてください。

専攻	学位プログラム	連絡先
社会 デザイン 科学 専攻	グローバル・エリアスタディーズプログラム	m-gas@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	多文化共生学プログラム	m-mcult@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	地域人間発達支援学プログラム	m-hdev@cc.utsunomiya-u.ac.jp

XVIII 研究指導教員一覧

地域創生科学研究科において研究指導を行う教員の一覧です。

志願する学位プログラムのページから、教育研究分野を参考に希望する指導教員を1名選び、**必ず出願前に教員と連絡を取って相談した上で**、インターネット出願の登録時に希望指導教員名を入力してください。

事前相談は、入学後の研究活動やカリキュラムに関することに限ります。過去の試験問題に関する質問など入学試験に関することには回答できません。

なお、指導教員による実質的指導時間を確保するため、あるいは、各研究室の施設・設備上の制約のため、指導教員の受け入れ人数に制限を設けている場合があります。この場合、受験者は試験に合格しても、希望教員の指導を受けられないことがあります。

社会デザイン科学専攻	(ページ)
グローバル・エリアスタディーズプログラム	42
多文化共生学プログラム	43
地域人間発達支援学プログラム	44

【社会デザイン科学専攻 グローバル・エリアスタディーズプログラム】

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	阪本 公美子 SAKAMOTO, Kumiko	アフリカ地域研究	東アフリカにおける社会開発と文化に関する研究
教授 Professor	清水 奈名子 SHIMIZU, Nanako	国際関係論・国際機構論	国際連合における安全保障に関する研究
教授 Professor	高橋 若菜 TAKAHASHI, Wakana	環境問題とガバナンス	環境政策が地域・国家間で相違する要因を、政治学的視点から解明する研究
教授 Professor	松尾 昌樹 MATSUO, Masaki	中東地域研究	中東地域を対象とする政治経済研究
准教授 Assoc. Prof.	飯塚 明子 IIZUKA, Akiko	防災と国際協力	防災分野における国際協力に関する研究
准教授 Assoc. Prof.	栗原 俊輔 KURIHARA, Shunsuke	国際協力, ガバナンス, 市民社会	国際開発におけるガバナンスの研究
准教授 Assoc. Prof.	古村 学 KOMURA, Manabu	村落社会学	日本の村落社会におけるフィールド・ワークに基づく研究
准教授 Assoc. Prof.	スエヨシ アナ SUEYOSHI, Ana	応用経済学 (含む歴史)	ラテンアメリカにおける政治経済に関する研究
准教授 Assoc. Prof.	藤井 広重 FUJII, Hiroshige	国際人権論	平和構築における国際的な刑事裁判所の機能に関する研究
准教授 Assoc. Prof.	松村 史紀 MATSUMURA, Fuminori	東アジアの国際政治	現代中国をめぐる国際政治史に関する研究

【社会デザイン科学専攻 多文化共生学プログラム】

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	天 沼 実 AMANUMA, Minoru	理論言語学, 英語学	現代英語の統語論, 意味論, 音韻論等に関する理論的・実証的研究
教授 Professor	木 下 大 輔 KINOSHITA, Daisuke	作曲・音楽学	作曲実技, および歴史学(西洋音楽史)の研究
教授 Professor	鈴 木 啓 子 SUZUKI, Keiko	日本近代文学	近代日本における言語芸術の成立と受容
教授 Professor	戚 傑 QI, Jie	教育社会学, 外国語教育	学校教育および外国語教育に関する研究
教授 Professor	中 村 真 NAKAMURA, Makoto	心理学	社会的共生と感情コミュニケーションに関する研究
教授 Professor	長谷川 万由美 HASEGAWA, Mayumi	社会福祉学	共生社会論, シティズンシップ教育
教授 Professor	松 井 貴 子 MATSUI, Takako	日本文化, 日本文学, 比較文化	日本の伝統と近代化, 文化の普遍性, 異質性と同質性
教授 Professor	丸 山 剛 史 MARUYAMA, Tsuyoshi	教育学, 学校教育学, 教育課程論	新制中学校カリキュラム史研究, 外国人児童生徒教育のカリキュラム, 植民地の技術・職業教育史
教授 Professor	湯 澤 伸 夫 YUZAWA, Nobuo	英語音声学	現代英語における音声の特徴と教育への応用
教授 Professor	吉 田 一 彦 YOSHIDA, Kazuhiko	言語学, 外国語教育学	多言語使用に関する研究
教授 Professor	米 山 正 文 YONEYAMA, Masafumi	米文学	19世紀ロマン主義文学研究
准教授 Assoc. Prof.	出 羽 尚 IZUHA, Takashi	イギリス美術史	18-19世紀のイギリスの絵画についての研究
准教授 Assoc. Prof.	良 香 織 USHITORA, Kaori	性と人権論	近現代における性と人権
准教授 Assoc. Prof.	大 野 斉 子 OHNO, Tokiko	ロシア文学・文化論	19世紀ロシアの文学と表象文化論
准教授 Assoc. Prof.	黒 川 亨 子 KUROKAWA, Kyoko	刑事法学, 法学	差別的起訴, 法教育
准教授 Assoc. Prof.	高 山 慶 子 TAKAYAMA, Keiko	歴史学, 日本史	日本近世史, 近世近代移行期の歴史
准教授 Assoc. Prof.	高 山 道 代 TAKAYAMA, Michiyo	日本語学・日本語史	古代日本語の文法と語彙
准教授 Assoc. Prof.	立 花 有 希 TACHIBANA, Yuuki	教育学	グローバル時代の学校教育に関する研究
准教授 Assoc. Prof.	本 田 悟 郎 HONDA, Goro	芸術学, 美術教育	芸術学(理論と美術史近現代), 美術教育研究
准教授 Assoc. Prof.	槇 野 佳 奈 子 MAKINO, Kanako	フランス文学	19世紀フランス文学, ヨーロッパ思想史
助教 Asst. Prof.	岩 崎 宏 之 IWASAKI, Hiroyuki	理論言語学	統辞論, 意味論

【社会デザイン科学専攻 地域人間発達支援学プログラム】

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	上原 秀一 UEHARA, Shuichi	教育学（教育哲学）	教育における思考と言語の関係に関する研究
教授 Professor	川島 芳昭 KAWASHIMA, Yoshiaki	教育工学・情報教育	情報社会に対応したメディア活用・コンテンツ創造に関する研究
教授 Professor	佐々木 和也 SASAKI, Kazuya	生活環境学・衣環境学	衣生活を中心とした生活・地域の環境創造に関する研究
教授 Professor	出口 明子 DEGUCHI, Akiko	科学教育・理科教育学・学習科学	科学の学びに関するデザイン研究
教授 Professor	松島 さくら子 MATSUSHIMA, Sakurako	工芸・美術	漆工芸表現研究・工芸を通じたアジア文化創造の実践と研究
准教授 Assoc. Prof.	石川 隆行 ISHIKAWA, Takayuki	発達心理学・認知心理学	子どもにおける社会性に関する研究
准教授 Assoc. Prof.	株田 昌彦 KABUTA, Masahiko	絵画技法・芸術学	絵画制作を基にした技法研究，地域の美術普及に関する研究
准教授 Assoc. Prof.	久保 元芳 KUBO, Motoyoshi	健康教育学・学校保健学	学校での健康教育の理論的・実践的研究、青少年の現代的な健康課題に関する調査研究
准教授 Assoc. Prof.	熊田 禎介 KUMATA, Teisuke	教科教育学（社会科教育学）	社会科教育・歴史教育に関する理論的・実践的研究
准教授 Assoc. Prof.	小原 一馬 KOHARA, Kazuma	感情社会学	遊びの面白さの教育への応用，スクールカースト
准教授 Assoc. Prof.	平井 李枝 HIRAI, Rie	音楽表現学・音楽教育	音楽における表現，指導，創作，マネジメントに関する研究
助教 Asst. Prof.	宮代 こずゑ MIYASHIRO, Kozue	発達心理学・認知心理学	言語の知覚的表現が言語処理に及ぼす影響に関する研究

